

令和4年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

令和6年8月

独立行政法人 日本学生支援機構

< 目 次 >

I 調査の概要

II 調査結果

基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学生本人の年齢
3. 奨学金の種類
4. 奨学金の貸与学種

1 回答者および在学中の手續等に関すること

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| (1)回答者 | 表1-1 |
| (2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者 | 表1-2 |
| (3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について | 表1-3-1～1-3-3 |
| (4)奨学金はどのように役に立ったか | 表1-4-1～1-4-2 |
| (5)返還義務を知った時期 | 表1-5 |
| (6)人的保証制度の選択理由 | 表1-6 |
| (7)機関保証制度の選択理由 | 表1-7 |
| (8)保証料額をどう思うか | 表1-8 |
| (9)保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか | 表1-9 |

2 返還について

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| (1)主に返還金を用意する人 | 表2-1-1～2-1-2 |
| (2)学種と主に返還金を用意する人との関係 | 表2-2-1～2-2-2 |
| (3)月々の返還額について | 表2-3-1～2-3-2 |
| (4)年収と月に返還できる金額との関係 | 表2-4-1～2-4-2 |
| (5)所得連動返還方式を利用したいと思うか | 表2-5 |
| (6)年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係 | 表2-6-1～2-6-2 |
| (7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか | 表2-7 |
| (8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度 | 表2-8 |
| (9) 年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係 | 表2-9-1～2-9-2 |
| (10)繰上返還を利用したことがあるか | 表2-10-1～2-10-2 |
| (11)年収と繰上返還の利用との関係 | 表2-11 |

3 奨学生本人の職業について

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)奨学生本人の職業 | 表3-1-1～3-1-2 |
| (2)年齢と職業との関係 | 表3-2-1～3-2-2 |
| (3)学種と職業との関係 | 表3-3-1～3-3-2 |

4 奨学生本人の年収について

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)奨学生本人の年収 | 表4-1-1～4-1-3 |
| (2)職業と年収との関係 | 表4-2-1～4-2-2 |
| (3)年齢と年収との関係 | 表4-3-1～4-3-2 |
| (4)学種と年収との関係 | 表4-4-1～4-4-2 |

5 延滞の状況 ※ (1)～(4)は延滞者に、(5)(6)(8)は無延滞者に質問。

(1)延滞している理由	表5-1-1～5-1-3
(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係	表5-2
(3)年収と延滞している理由との関係	表5-3
(4)職業と延滞している理由との関係	表5-4
(5)延滞経験の有無	表5-5
(6)延滞になったことを何で知ったか	表5-6
(7)延滞をしたときに最初にしたこと	表5-7
(8)延滞を解消できた理由	表5-8

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1)返還期限猶予制度の認知状況	表6-1
(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-2-1～6-2-2
(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-3-1～6-3-2
(4)返還期限猶予制度を何で知ったか	表6-4-1～表6-4-3
(5)減額返還制度の認知状況	表6-5
(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係	表6-6-1～6-6-2
(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係	表6-7-1～6-7-2
(8)減額返還制度を何で知ったか	表6-8

<調査票>

奨学金の返還に関するアンケート（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート（無延滞者用）

（注意）

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答の設問に関する表の各回答の比率は、合計しても100%にならない。
※ 各回答の比率は回答者数の合計に対する比率である。
- 5 表区分の年度は、調査年度を表す。

I 調査の概要

1 目的

奨学金返還者の状況を把握し、奨学金回収方策の検討のための基礎資料を得る。

2 調査対象

- (1) 令和4年12月末において、奨学金返還を3か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）から無作為抽出した15,584人。
- (2) 令和4年12月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）から無作為抽出した8,585人。

3 調査方法

質問を記入した調査票を送付し、返信用封筒により返送を依頼した。

4 調査時期

令和5年2月

5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数（令和4年度末）
延滞者	15,584 人	1,601 人	10.3%	131 千人
無延滞者	8,585 人	1,414 人	16.5%	4,431 千人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

（参考）令和4年度末現在の状況

① 返還を要する者（返還期日到来分のみ）	4,747千人
② 返還している者	4,431千人
③ 1日以上の延滞者	316千人
④ 3か月以上の延滞者	131千人

Ⅱ 調査結果

基礎情報

1 奨学生本人の性別

(単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
男性	869	54.3%	672	47.5%
女性	732	45.7%	742	52.5%
計	1,601	100.0%	1,414	100.0%

2 奨学生本人の年齢

(単位：人)

年齢	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
20代以下	310	19.4%	548	38.8%
30代	499	31.2%	723	51.1%
40代	476	29.7%	119	8.4%
50代以上	316	19.7%	24	1.7%
計	1,601	100.0%	1,414	100.0%

3 奨学金の種類

(単位：人)

種別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
第一種	627	39.2%	618	43.7%
第二種	974	60.8%	796	56.3%
計	1,601	100.0%	1,414	100.0%

4 奨学金の貸与学種

(単位：人)

学種	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高等学校	184	11.5%	3	0.2%
高等専門学校	3	0.2%	60	4.2%
短期大学	108	6.7%	90	6.4%
大学	899	56.2%	868	61.4%
大学院	59	3.7%	128	9.1%
専修学校専門課程	345	21.5%	264	18.7%
専修学校高等課程	3	0.2%	1	0.1%
計	1,601	100.0%	1,414	100.0%

1 回答者および在学中の手續等に関すること

(1)回答者（択一）

アンケート調査に回答した者は、延滞者、無延滞者ともに、おおよそ4分の3が「奨学生本人」、5分の1が「本人の親」である。

表1-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,253	79.0%	1,084	76.9%
本人の親	305	19.2%	316	22.4%
本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	20	1.3%	8	0.6%
その他	8	0.5%	1	0.1%
計	1,586	100.0%	1,409	100.0%
無回答	15		5	

(2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者（択一）

奨学金申請時の申込手続きを「奨学生本人」が行った比率は、無延滞者では59.0%であるのに対し延滞者では47.9%と低い。また、「奨学生本人」と「本人と親等」を合せてみても、無延滞者では84.3%であるのに対し、延滞者では70.2%しか申請時の申込手続きに奨学生本人が関わっていない。延滞者は無延滞者に比べて親等が申請時の申込手続きを行った比率が高い。

表1-2

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	764	47.9%	834	59.0%
親（または祖父母等の家族、親戚）	380	23.8%	185	13.1%
本人と親等	355	22.3%	358	25.3%
その他	5	0.3%	1	0.1%
覚えていない・わからない	91	5.7%	36	2.5%
計	1,595	100.0%	1,414	100.0%
無回答	6		0	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	805	43.9%	879	41.9%	798	39.9%	1,100	36.7%
親（または祖父母等の家族、親戚）	467	25.5%	608	29.0%	564	28.2%	1,030	34.3%
本人と親等	441	24.1%	503	24.0%	476	23.8%	554	18.5%
その他	1	0.1%	5	0.2%	2	0.1%	9	0.3%
覚えていない・わからない	118	6.4%	103	4.9%	160	8.0%	307	10.2%
計	1,832	100.0%	2,098	100.0%	2,000	100.0%	3,000	100.0%

【無延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,009	58.9%	1,192	59.0%	868	60.0%	1,566	65.6%
親（または祖父母等の家族、親戚）	245	14.3%	300	14.9%	161	11.1%	376	15.7%
本人と親等	425	24.8%	478	23.7%	385	26.6%	394	16.5%
その他	6	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
覚えていない・わからない	29	1.7%	48	2.4%	33	2.3%	49	2.1%
計	1,714	100.0%	2,019	100.0%	1,447	100.0%	2,388	100.0%

(3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金を受けていたか質問した。（択一）

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた者は、延滞者で12.4%、無延滞者で10.2%であり、いずれも85%以上が「受けていなかった」と回答している。

表1-3-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
受けていた	195	12.4%	143	10.2%
受けていなかった	1,377	87.6%	1,264	89.8%
計	1,572	100.0%	1,407	100.0%
無回答	29		7	

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し理由を質問した。（択一）
「機構の奨学金だけでは不足」と回答した者が多く占めており、延滞者で80.1%、無延滞者で71.9%となった。

表1-3-2

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
機構の奨学金だけでは不足だった	153	80.1%	92	71.9%
生活にゆとりを持ちたかった	10	5.2%	19	14.8%
その他	28	14.7%	17	13.3%
計	191	100.0%	128	100.0%
無回答	4		15	

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し質問した。（択一）
延滞者では1万円～2万円未満と回答した者が27.8%と最も多く、無延滞者では2万円～3万円未満と回答した者が22.1%と最も多かった。

表1-3-3 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
1万円未満	14	8.9%	12	10.6%
1万円～2万円未満	44	27.8%	21	18.6%
2万円～3万円未満	33	20.9%	25	22.1%
3万円～4万円未満	18	11.4%	11	9.7%
4万円～5万円未満	18	11.4%	15	13.3%
5万円～6万円未満	9	5.7%	13	11.5%
6万円～7万円未満	2	1.3%	3	2.7%
7万円～8万円未満	6	3.8%	3	2.7%
8万円以上	14	8.9%	10	8.8%
計	158	100.0%	113	100.0%
無回答	37		30	

(4)奨学金はどのように役に立ったか（複数回答）

奨学金がどのように役に立ったかについて、延滞者、無延滞者ともに「授業料等の学校納付金に 使うことができた」が最も高い。また、延滞者、無延滞者ともに「毎月の生活費に使うことができた」が2番目に高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表1-4-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
授業料等の学校納付金に使うことができた	1,048	70.9%	971	68.7%
毎月の修学費（書籍、文具購入費等）に使うことができた	367	24.8%	399	28.2%
毎月の生活費に使うことができた	505	34.2%	678	48.0%
アルバイトの時間を減らすことができた	129	8.7%	223	15.8%
その他	58	3.9%	20	1.4%
回答者数	1,592		1,413	
無回答	9		1	

回答者のうち、2つ以上の効果を感じている者は、延滞者では30.8%、無延滞者では40.0%である。

表1-4-2 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
いずれか1つの効果を感じている人	1,102	69.2%	848	60.0%
2つ以上の効果を感じている人	490	30.8%	565	40.0%
計	1,592	100.0%	1,413	100.0%

(5)返還義務を知った時期（択一）

返還義務を知った時期は、無延滞者は「申込手続きを行う前」が89.1%であるのに対し、延滞者では56.2%にとどまり、申込手続きまでの認識が十分でないことがうかがえる。また、延滞者では、貸与終了後に返還義務を知った者の合計は14.0%で、そのうち約半数の6.8%は「延滞督促を受けてから」知ったと回答している。

表1-5

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	896	56.2%	1,260	89.1%
申込手続中	213	13.4%	86	6.1%
貸与中	93	5.8%	28	2.0%
貸与終了時	52	3.3%	3	0.2%
貸与終了後～返還開始前	57	3.6%	18	1.3%
返還開始～延滞督促前	58	3.6%	2	0.1%
延滞督促を受けてから	108	6.8%	1	0.1%
その他	14	0.9%	0	0.0%
わからない・覚えていない	103	6.5%	16	1.1%
計	1,594	100.0%	1,414	100.0%
無回答	7		0	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,006	55.1%	1,091	52.2%	996	50.3%	1,517	51.1%
申込手続中	258	14.1%	291	13.9%	287	14.5%	386	13.0%
貸与中	133	7.3%	122	5.8%	129	6.5%	189	6.4%
貸与終了時	44	2.4%	60	2.9%	65	3.3%	78	2.6%
貸与終了後～返還開始前	66	3.6%	95	4.5%	77	3.9%	128	4.3%
返還開始～延滞督促前	57	3.1%	80	3.8%	83	4.2%	127	4.3%
延滞督促を受けてから	140	7.7%	184	8.8%	163	8.2%	341	11.5%
その他	11	0.6%	17	0.8%	14	0.7%	26	0.9%
わからない・覚えていない	112	6.1%	150	7.2%	167	8.4%	176	5.9%
計	1,827	100.0%	2,090	100.0%	1,981	100.0%	2,968	100.0%

【無延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,536	89.6%	1,793	88.9%	1,293	89.4%	2,148	90.1%
申込手続中	84	4.9%	111	5.5%	72	5.0%	128	5.4%
貸与中	32	1.9%	55	2.7%	40	2.8%	45	1.9%
貸与終了時	11	0.6%	13	0.6%	8	0.6%	14	0.6%
貸与終了後～返還開始前	23	1.3%	16	0.8%	14	1.0%	15	0.6%
返還開始～延滞督促前	5	0.3%	9	0.4%	3	0.2%	7	0.3%
延滞督促を受けてから	3	0.2%	2	0.1%	3	0.2%	1	0.0%
その他	1	0.1%	3	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
わからない・覚えていない	20	1.2%	15	0.7%	13	0.9%	26	1.1%
計	1,715	100.0%	2,017	100.0%	1,447	100.0%	2,384	100.0%

※日本学生支援機構では、奨学金を利用するにあたり、連帯保証人・保証人を選任する「人的保証」か、一定の保証料を支払うことにより保証機関（公財）日本国際教育支援協会が連帯保証する「機関保証」のいずれかの選択を求めている。

(6)人的保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

人的保証制度を選択している者に、人的保証を選択した理由を質問した。

「親等からのアドバイス」と回答した比率が41.8%で最も高い。

表1-6 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
保証料が高かったから	90	12.0%
保証料を払いたくなかったから	139	18.5%
親等からのアドバイス	315	41.8%
機関保証にしても支払義務はなくなるから	27	3.6%
代位弁済後も支払義務はなくなるから	2	0.3%
制度がよくわからなかったから	132	17.5%
その他	48	6.4%
計	753	100.0%
無回答	101	

(7)機関保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、機関保証を選択した理由を質問した。

「自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから」と回答した比率が27.5%で最も高い。

表1-7 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから	102	27.5%
親などに自分の責任で奨学金を申し込むように言われたから	62	16.7%
連帯保証人・保証人になってくれる人がいなかったから	93	25.1%
連帯保証人・保証人を頼むのが面倒だったから	76	20.5%
その他	38	10.2%
計	371	100.0%
無回答	189	

(8)保証料額をどう思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料額をどう思うか質問した。

「適当」と回答した者の比率が42.2%で最も高く、次いで「やや高い」と回答した者の比率が37.3%である。

表1-8 (単位：人)

学種	無延滞者	
	人数	比率
とても高い	80	19.8%
やや高い	151	37.3%
適当	171	42.2%
やや低い	3	0.7%
とても低い	0	0.0%
計	405	100.0%
無回答	155	

(9) 保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料の支払方法としてよいと思う方法について質問した。

現在の支払方法である「貸与時に貸与月額からの天引きで支払う方法がよい」と回答した者の比率が、62.2%で最も高い。

表1-9 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
貸与時に貸与月額から差し引く方法（現行の方法）	262	62.2%
返還時に返還月額に上乗せして支払う方法	33	7.8%
上記以外の方法	4	1.0%
わからない	122	29.0%
計	421	100.0%
無回答	139	

2 返還について

(1)主に返還金を用意する人（択一）

「奨学生本人」が返還金を用意している比率は、延滞者では78.8%であるのに対し、無延滞者では85.4%である。一方、「本人の親」が返還金を用意している比率は、延滞者では17.8%で無延滞者に比べて高い。

表2-1-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,253	78.8%	1,208	85.4%
本人の親	283	17.8%	178	12.6%
本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	35	2.2%	25	1.8%
その他	20	1.3%	3	0.2%
計	1,591	100.0%	1,414	100.0%
無回答	10		0	

「奨学生本人」以外が返還金を用意していると回答した者に対し、返還金を用意している人との関係について質問したところ、延滞者、無延滞者ともに「連帯保証人」と回答した者の比率が40%以上で最も高い。

表2-1-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
連帯保証人（人的保証）	167	52.7%	98	48.0%
保証人（人的保証）	63	19.9%	25	12.3%
機関保証の「本人以外の連絡先」に登録している人	19	6.0%	18	8.8%
上記以外	39	12.3%	29	14.2%
分からない	29	9.1%	34	16.7%
計	317	100.0%	204	100.0%
無回答	21		2	

(2)学種と主に返還金を用意する人との関係

学種と主に返還金を用意する人との関係をみると、無延滞者は、ほぼ全ての学種において「奨学生本人」が返還金を用意している比率が80%以上で最も高い。延滞者では、他の学種と比べて高等学校で「本人の親」が返還金を用意している比率が29.0%で特に高い。

表2-2-1 学種×主に返還金を用意する人【延滞者】

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	119	65.0%	3	100.0%	84	78.5%
本人の親	53	29.0%	0	0.0%	18	16.8%
本人の配偶者（夫または妻）・パートナー	5	2.7%	0	0.0%	3	2.8%
その他	6	3.3%	0	0.0%	2	1.9%
計	183	100.0%	3	100.0%	107	100.0%
無回答	1		0		1	

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	716	80.1%	51	89.5%	277	80.5%	3	100.0%
本人の親	152	17.0%	5	8.8%	55	16.0%	0	0.0%
本人の配偶者（夫または妻）・パートナー	19	2.1%	0	0.0%	8	2.3%	0	0.0%
その他	7	0.8%	1	1.8%	4	1.2%	0	0.0%
計	894	100.0%	57	100.0%	344	100.0%	3	100.0%
無回答	5		2		1		0	

表2-2-2 学種×主に返還金を用意する人【無延滞者】

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2	66.7%	50	83.3%	79	87.8%
本人の親	0	0.0%	9	15.0%	7	7.8%
本人の配偶者（夫または妻）・パートナー	1	33.3%	1	1.7%	4	4.4%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	3	100.0%	60	100.0%	90	100.0%
無回答	0		0		0	

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	732	84.3%	120	93.8%	224	84.8%	1	100.0%
本人の親	122	14.1%	7	5.5%	33	12.5%	0	0.0%
本人の配偶者（夫または妻）・パートナー	11	1.3%	1	0.8%	7	2.7%	0	0.0%
その他	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	868	100.0%	128	100.0%	264	100.0%	1	100.0%
無回答	0		0		0		0	

(3)月々の返還額について

現在の月々の返還額はいくらか質問した。(択一)

無延滞者では1万円～1万5千円未満と回答した者の比率が35.4%で最も高く、延滞者も同様に1万円～1万5千円未満と回答した者の比率が21.1%で最も高い。

表2-3-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
5千円未満	90	5.8%	19	1.4%
5千円～1万円未満	202	13.1%	194	13.8%
1万円～1万5千円未満	326	21.1%	496	35.4%
1万5千円～2万円未満	309	20.0%	325	23.2%
2万円～2万5千円未満	207	13.4%	169	12.1%
2万5千円～3万円未満	119	7.7%	83	5.9%
3万円～3万5千円未満	133	8.6%	43	3.1%
3万5千円～4万円未満	39	2.5%	28	2.0%
4万円以上	117	7.6%	44	3.1%
計	1,542	100.0%	1,401	100.0%
無回答	59		13	

また、現在の返還額を基準とすると月にどれくらいの金額であれば無理なく返還できるかについては、表2-3-2のとおりとなった。

無延滞者では「現在の返還額で良い」と回答した者の比率が60.8%と最も高くなっているのに対し、延滞者では「2分の1程度」と回答した者の比率が27.9%と最も高い。

表2-3-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	418	27.4%	114	8.1%
3分の1程度	226	14.8%	85	6.1%
2分の1程度	426	27.9%	248	17.7%
3分の2程度	126	8.2%	102	7.3%
現在の返還額で良い	332	21.7%	852	60.8%
計	1,528	100.0%	1,401	100.0%
無回答	73		13	

(4)年収と月に返還できる金額との関係

奨学生本人の年収と月に返還できる金額との関係をみると、延滞者では年収「200万円」を境に、月に返還できる金額の区分が高くなる。

表2-4-1 年収×月に返還できる金額【延滞者】

(単位：人)

年収 月に返還できる金額	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	73	42.4%	83	36.7%	90	30.9%	81	23.4%
3分の1程度	27	15.7%	39	17.3%	37	12.7%	50	14.5%
2分の1程度	28	16.3%	50	22.1%	77	26.5%	108	31.2%
3分の2程度	12	7.0%	18	8.0%	23	7.9%	27	7.8%
現在の返還額で良い	32	18.6%	36	15.9%	64	22.0%	80	23.1%
計	172	100.0%	226	100.0%	291	100.0%	346	100.0%
無回答	20		14		15		9	

年収 月に返還できる金額	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	47	19.7%	13	13.7%	12	25.0%	3	10.7%
3分の1程度	39	16.3%	11	11.6%	10	20.8%	3	10.7%
2分の1程度	77	32.2%	36	37.9%	11	22.9%	9	32.1%
3分の2程度	29	12.1%	8	8.4%	3	6.3%	3	10.7%
現在の返還額で良い	47	19.7%	27	28.4%	12	25.0%	10	35.7%
計	239	100.0%	95	100.0%	48	100.0%	28	100.0%
無回答	4		1		0		1	

年収 月に返還できる金額	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	1	10.0%	0	0.0%	2	13.3%	11	22.0%
3分の1程度	1	10.0%	2	25.0%	2	13.3%	5	10.0%
2分の1程度	6	60.0%	2	25.0%	4	26.7%	16	32.0%
3分の2程度	0	0.0%	4	50.0%	1	6.7%	2	4.0%
現在の返還額で良い	2	20.0%	0	0.0%	6	40.0%	16	32.0%
計	10	100.0%	8	100.0%	15	100.0%	50	100.0%
無回答	0		0		0		9	

無延滞者については、「現在の返還額で良い」と回答した者の全収入区分を通じて高い比率となった。

表2-4-2 年収×月に返還できる程度【無延滞者】

(単位：人)

年収 月に返還できる程度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	7	11.3%	10	12.8%	17	11.9%	24	8.8%
3分の1程度	10	16.1%	8	10.3%	8	5.6%	21	7.7%
2分の1程度	21	33.9%	16	20.5%	30	21.0%	50	18.3%
3分の2程度	4	6.5%	4	5.1%	5	3.5%	30	11.0%
現在の返還額で良い	20	32.3%	40	51.3%	83	58.0%	148	54.2%
計	62	100.0%	78	100.0%	143	100.0%	273	100.0%
無回答	0		1		1		6	

年収 月に返還できる程度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	32	9.9%	9	4.7%	7	5.3%	4	5.1%
3分の1程度	16	4.9%	10	5.2%	4	3.1%	3	3.8%
2分の1程度	51	15.7%	30	15.6%	30	22.9%	13	16.7%
3分の2程度	30	9.3%	11	5.7%	13	9.9%	1	1.3%
現在の返還額で良い	195	60.2%	132	68.8%	77	58.8%	57	73.1%
計	324	100.0%	192	100.0%	131	100.0%	78	100.0%
無回答	3		2		0		0	

年収 月に返還できる程度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	0	0.0%	1	6.7%	3	6.5%	0	0.0%
3分の1程度	1	3.3%	1	6.7%	1	2.2%	2	6.9%
2分の1程度	3	10.0%	1	6.7%	2	4.3%	1	3.4%
3分の2程度	0	0.0%	1	6.7%	1	2.2%	2	6.9%
現在の返還額で良い	26	86.7%	11	73.3%	39	84.8%	24	82.8%
計	30	100.0%	15	100.0%	46	100.0%	29	100.0%
無回答	0		0		0		0	

(5)所得連動返還方式を利用したいと思うか（択一）

収入額に応じて、収入が低い間は少ない金額を、収入が高くなったら多い金額を返還していく「所得連動返還方式」を利用できるとしたら利用したいと回答した比率は、延滞者では34.8%で高くなり、無延滞者では、「利用したくない（定額が良い）」と回答した比率が46.8%で高くなっている。

表2-5（択一）

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
利用したい	547	34.8%	337	24.0%
利用したくない（定額が良い）	330	21.0%	659	46.8%
現在利用している	10	0.6%	16	1.1%
よくわからない	686	43.6%	395	28.1%
計	1,573	100.0%	1,407	100.0%
無回答	28		7	

(6)年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係

奨学生本人の年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係をみると、延滞者では年収「400万円以下」で「利用したい」と思う比率が高く、無延滞者では年収にかかわらず「利用したくない」と思う比率が高い。

表2-6-1 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【延滞者】

(単位：人)

年収 所得連動返還方式の利用	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	57	30.5%	86	36.6%	114	37.5%	132	37.7%
利用したくない（定額が良い）	27	14.4%	36	15.3%	48	15.8%	72	20.6%
現在利用している	1	0.5%	2	0.9%	5	1.6%	1	0.3%
よくわからない	102	54.5%	111	47.2%	137	45.1%	145	41.4%
計	187	100.0%	235	100.0%	304	100.0%	350	100.0%
無回答	5		5		2		5	

年収 所得連動返還方式の利用	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	91	37.6%	25	26.3%	17	35.4%	10	35.7%
利用したくない（定額が良い）	66	27.3%	35	36.8%	18	37.5%	8	28.6%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よくわからない	85	35.1%	35	36.8%	13	27.1%	10	35.7%
計	242	100.0%	95	100.0%	48	100.0%	28	100.0%
無回答	1		1		0		1	

年収 所得連動返還方式の利用	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	2	20.0%	2	25.0%	2	13.3%	9	17.6%
利用したくない（定額が良い）	3	30.0%	1	12.5%	7	46.7%	9	17.6%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
よくわからない	5	50.0%	5	62.5%	6	40.0%	32	62.7%
計	10	100.0%	8	100.0%	15	100.0%	51	100.0%
無回答	0		0		0		8	

表2-6-2 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【無延滞者】

(単位：人)

年収 所得連動返還方式の利用	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	16	25.8%	23	29.5%	32	22.5%	76	27.2%
利用したくない（定額が良い）	21	33.9%	24	30.8%	62	43.7%	124	44.4%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	5	1.8%
よくわからない	25	40.3%	31	39.7%	46	32.4%	74	26.5%
計	62	100.0%	78	100.0%	142	100.0%	279	100.0%
無回答	0		1		2		0	

年収 所得連動返還方式の利用	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	70	21.6%	40	20.6%	34	26.0%	17	21.8%
利用したくない（定額が良い）	156	48.1%	99	51.0%	73	55.7%	43	55.1%
現在利用している	4	1.2%	2	1.0%	1	0.8%	0	0.0%
よくわからない	94	29.0%	53	27.3%	23	17.6%	18	23.1%
計	324	100.0%	194	100.0%	131	100.0%	78	100.0%
無回答	3		0		0		0	

年収 所得連動返還方式の利用	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	9	31.0%	2	13.3%	13	28.3%	5	17.2%
利用したくない（定額が良い）	14	48.3%	10	66.7%	25	54.3%	8	27.6%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.9%
よくわからない	6	20.7%	3	20.0%	8	17.4%	14	48.3%
計	29	100.0%	15	100.0%	46	100.0%	29	100.0%
無回答	1		0		0		0	

(7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか（択一）

日本学生支援機構からの情報提供について、十分だと思う者（「十分だと思う」＋「まあまあそう思う」）は、延滞者では42.1%、無延滞者では49.2%である。

表2-7

（単位：人）

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
十分だと思う	284	18.2%	42.1%	241	17.2%	49.2%
まあそう思う	374	23.9%		450	32.1%	
どちらともいえない	576	36.9%	36.9%	500	35.6%	35.6%
そう思わない	204	13.1%	21.0%	160	11.4%	15.2%
全くそう思わない	125	8.0%		53	3.8%	
計	1,563	100.0%	100.0%	1,404	100.0%	100.0%
無回答	38			10		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う （～H30：とてもそう思う）	367	20.4%	377	18.5%	422	21.3%	127	4.3%
まあそう思う （～H30：そう思う）	458	25.5%	487	23.9%	454	22.9%	751	25.3%
どちらともいえない	639	35.5%	736	36.1%	680	34.4%	1,249	42.1%
そう思わない	194	10.8%	274	13.4%	283	14.3%	537	18.1%
全くそう思わない	140	7.8%	165	8.1%	140	7.1%	302	10.2%
計	1,798	100.0%	2,039	100.0%	1,979	100.0%	2,966	100.0%

【無延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う （～H30：とてもそう思う）	313	18.4%	324	16.3%	249	17.3%	117	4.9%
まあそう思う （～H30：そう思う）	554	32.5%	732	36.9%	513	35.6%	884	37.1%
どちらともいえない	568	33.4%	671	33.8%	485	33.7%	1,004	42.1%
そう思わない	197	11.6%	191	9.6%	145	10.1%	303	12.7%
全くそう思わない	71	4.2%	66	3.3%	49	3.4%	77	3.2%
計	1,703	100.0%	1,984	100.0%	1,441	100.0%	2,385	100.0%

(8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度（複数回答）

月々の家計の支出における奨学金返還の優先度について、延滞者では「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」が5割程度、「他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される」及び「食費の方が優先される」がそれぞれ3割程度であったのに対し、無延滞者では9割以上が「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」と回答している。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-8

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	763	48.9%	1,337	95.0%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	507	32.5%	64	4.5%
食費の方が優先される	408	26.1%	79	5.6%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	354	22.7%	52	3.7%
交際費の方が優先される	32	2.0%	15	1.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	68	4.4%	37	2.6%
返還期限猶予（申請）中	215	13.8%	3	0.2%
支払っていない	408	26.1%	6	0.4%
計	1,561		1,407	
無回答	40		7	

(9)年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係

奨学生本人の年収と年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係をみると、延滞者・無延滞者いずれも、全ての年収帯で「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」の割合が高い。

※比率は(8)の回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-9-1 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【延滞者】

(単位：人)

年収 奨学金返還の優先度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	59	3.8%	103	6.6%	132	8.5%	177	11.3%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	24	1.5%	52	3.3%	93	6.0%	135	8.6%
食費の方が優先される	37	2.4%	64	4.1%	84	5.4%	101	6.5%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	19	1.2%	48	3.1%	76	4.9%	94	6.0%
交際費の方が優先される	0	0.0%	5	0.3%	3	0.2%	9	0.6%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	8	0.5%	10	0.6%	13	0.8%	12	0.8%
返還期限猶予（申請）中	48	3.1%	53	3.4%	44	2.8%	41	2.6%
支払えていない	92	5.9%	74	4.7%	73	4.7%	85	5.4%
回答者数	189		237		296		344	
無回答	3		3		10		11	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	132	8.5%	62	4.0%	30	1.9%	22	1.4%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	118	7.6%	40	2.6%	19	1.2%	7	0.4%
食費の方が優先される	64	4.1%	28	1.8%	15	1.0%	5	0.3%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	67	4.3%	24	1.5%	12	0.8%	4	0.3%
交際費の方が優先される	7	0.4%	3	0.2%	2	0.1%	2	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	12	0.8%	5	0.3%	1	0.1%	0	0.0%
返還期限猶予（申請）中	16	1.0%	5	0.3%	1	0.1%	1	0.1%
支払えていない	47	3.0%	11	0.7%	6	0.4%	1	0.1%
回答者数	239		94		48		29	
無回答	4		2		0		0	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	7	0.4%	4	0.3%	9	0.6%	26	1.7%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	5	0.3%	5	0.3%	3	0.2%	6	0.4%
食費の方が優先される	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%	4	0.3%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	3	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	3	0.2%
交際費の方が優先される	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.4%
返還期限猶予（申請）中	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.3%
支払えていない	1	0.1%	3	0.2%	2	0.1%	13	0.8%
回答者数	10		8		15		52	
無回答	0		0		0		7	

表2-9-2 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【無延滞者】

(単位：人)

年収 奨学金返還の優先度	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	52	3.7%	72	5.1%	133	9.5%	264	18.8%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	2	0.1%	6	0.4%	12	0.9%	14	1.0%
食費の方が優先される	6	0.4%	7	0.5%	8	0.6%	23	1.6%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	2	0.1%	6	0.4%	7	0.5%	16	1.1%
交際費の方が優先される	1	0.1%	2	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	7	0.5%	4	0.3%	2	0.1%	4	0.3%
返還期限猶予（申請）中	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
支払えていない	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%	1	0.1%
回答者数	62		79		142		278	
無回答	0		0		2		1	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	314	22.3%	184	13.1%	128	9.1%	74	5.3%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	12	0.9%	6	0.4%	5	0.4%	3	0.2%
食費の方が優先される	15	1.1%	9	0.6%	4	0.3%	4	0.3%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	10	0.7%	6	0.4%	1	0.1%	2	0.1%
交際費の方が優先される	4	0.3%	3	0.2%	1	0.1%	1	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	8	0.6%	6	0.4%	1	0.1%	2	0.1%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	327		191		131		77	
無回答	0		3		0		1	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	30	2.1%	14	1.0%	46	3.3%	26	1.8%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	0	0.0%	2	0.1%	2	0.1%	0	0.0%
食費の方が優先される	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%	0	0.0%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%
交際費の方が優先される	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	30		15		46		29	
無回答	0		0		0		0	

(10)繰上返還を利用したことがあるか（択一）

無延滞の者に対し、繰上返還を利用したことがあるか質問したところ、「ない」が78.9%で最も高かった。

表2-10-1 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
ある	136	9.7%
ない	1,100	78.9%
制度を知らない	159	11.4%
計	1,395	100.0%
無回答	19	

繰上返還を行った理由（複数回答可）については、「早く返したかった」が73.5%で最も高く、次いで「資金に余裕ができた」が40.4%で高かった。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-10-2 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
資金に余裕ができた	55	40.4%
早く返したかった	100	73.5%
親・家族等から資金援助があった	24	17.6%
奨学金の残りがあった	11	8.1%
延滞する前に払い終わりたかった	0	0.0%
回答者数	136	
無回答	0	

(11) 年収と繰上返済の利用との関係

奨学生本人の年収と繰上返済の利用有無との関係をみると、表2-11のとおりとなった。

表2-11 年収×繰上返済の利用有無【無延滞者】

(単位：人)

繰上返済の利用 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	7	11.3%	5	6.3%	9	6.3%	24	8.8%
ない	48	77.4%	61	77.2%	109	76.8%	211	77.0%
制度を知らない	7	11.3%	13	16.5%	24	16.9%	39	14.2%
回答者数	62	100.0%	79	100.0%	142	100.0%	274	100.0%
無回答	0		0		2		5	

繰上返済の利用 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	29	9.1%	23	12.1%	20	15.3%	12	15.4%
ない	260	81.3%	148	77.9%	100	76.3%	61	78.2%
制度を知らない	31	9.7%	19	10.0%	11	8.4%	5	6.4%
回答者数	320		190		131		78	
無回答	7		4		0		0	

繰上返済の利用 年収	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	2	6.7%	0	0.0%	3	6.5%	2	7.1%
ない	28	93.3%	10	66.7%	41	89.1%	23	82.1%
制度を知らない	0	0.0%	5	33.3%	2	4.3%	3	10.7%
回答者数	30		15		46		28	
無回答	0		0		0		1	

3 奨学生本人の職業について

(1)奨学生本人の職業（択一）

奨学生本人の職業は、延滞者では「正社（職）員・従業員」41.1%、「非正規社（職）員・従業員」28.2%、「無職・失業中／休職中」16.4%であるのに対し、無延滞者では「正社（職）員・従業員」74.5%、「非正規社（職）員・従業員」13.1%、「無職・失業中／休職中」4.2%で、無延滞者の方が延滞者より安定した就業状況にあるといえる。

男女別でみると、延滞者の女性で「非正規社（職）員・従業員」の比率が高い。

表3-1-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	655	41.1%	1,051	74.5%
非正規社（職）員・従業員	449	28.2%	185	13.1%
自営業／家業	136	8.5%	39	2.8%
学生（留学を含む）	7	0.4%	22	1.6%
専業主婦（夫）	38	2.4%	39	2.8%
無職・失業中／休職中	261	16.4%	59	4.2%
その他	47	3.0%	16	1.1%
計	1,593	100.0%	1,411	100.0%
無回答	8		3	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	725	39.9%	856	41.0%	828	40.7%	1,296	43.2%
非正規社（職）員・従業員	543	29.9%	600	28.7%	628	30.9%	926	30.9%
自営業／家業	138	7.6%	150	7.2%	143	7.0%	201	6.7%
学生（留学を含む）	8	0.4%	10	0.5%	5	0.2%	17	0.6%
専業主婦（夫）	60	3.3%	81	3.9%	93	4.6%	162	5.4%
無職・失業中／休職中	286	15.7%	337	16.1%	297	14.6%	338	11.3%
その他	58	3.2%	55	2.6%	41	2.0%	58	1.9%
計	1,818	100.0%	2,089	100.0%	2,035	100.0%	2,998	100.0%

【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,276	74.5%	1,546	76.6%	1,084	74.3%	1,723	72.2%
非正規社（職）員・従業員	226	13.2%	253	12.5%	203	13.9%	351	14.7%
自営業／家業	50	2.9%	50	2.5%	37	2.5%	61	2.6%
学生（留学を含む）	19	1.1%	22	1.1%	18	1.2%	27	1.1%
専業主婦（夫）	66	3.9%	60	3.0%	54	3.7%	118	4.9%
無職・失業中／休職中	60	3.5%	68	3.4%	58	4.0%	96	4.0%
その他	15	0.9%	19	0.9%	4	0.3%	10	0.4%
計	1,712	100.0%	2,018	100.0%	1,458	100.0%	2,386	100.0%

表3-1-2【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	420	48.5%	235	32.3%	655	41.1%
非正規社（職）員・従業員	186	21.5%	263	36.2%	449	28.2%
自営業／家業	96	11.1%	40	5.5%	136	8.5%
学生（留学を含む）	5	0.6%	2	0.3%	7	0.4%
専業主婦（夫）	0	0.0%	38	5.2%	38	2.4%
無職・失業中／休職中	137	15.8%	124	17.1%	261	16.4%
その他	22	2.5%	25	3.4%	47	3.0%
計	866	100.0%	727	100.0%	1,593	100.0%
無回答	3		5		8	

表3-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	544	81.1%	507	68.5%	1,051	74.5%
非正規社（職）員・従業員	50	7.5%	135	18.2%	185	13.1%
自営業／家業	28	4.2%	11	1.5%	39	2.8%
学生（留学を含む）	15	2.2%	7	0.9%	22	1.6%
専業主婦（夫）	1	0.1%	38	5.1%	39	2.8%
無職・失業中／休職中	26	3.9%	33	4.5%	59	4.2%
その他	7	1.0%	9	1.2%	16	1.1%
計	671	100.0%	740	100.0%	1,411	100.0%
無回答	1		2		3	

(2)年齢と職業との関係

奨学生本人の年齢と職業との関係を見ると、無延滞者は20代以下から40代まで「正社（職）員・従業員」の比率が70%以上だが、延滞者は40%程度にとどまっている。そして、延滞者では「非正規社（職）員・従業員」の割合が全ての年代で30%前後と高い。

表3-2-1 年齢×職業【延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	116	37.4%	249	50.0%	220	46.4%	70	22.5%
非正規社（職）員・従業員	109	35.2%	129	25.9%	115	24.3%	96	30.9%
自営業／家業	11	3.5%	32	6.4%	43	9.1%	50	16.1%
学生（留学を含む）	5	1.6%	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
専業主婦（夫）	6	1.9%	13	2.6%	13	2.7%	6	1.9%
無職・失業中／休職中	58	18.7%	67	13.5%	67	14.1%	69	22.2%
その他	5	1.6%	7	1.4%	15	3.2%	20	6.4%
計	310	100.0%	498	100.0%	474	100.0%	311	100.0%
無回答	0		1		2		5	

表3-2-2 年齢×職業【無延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	405	74.3%	547	75.7%	90	75.6%	9	37.5%
非正規社（職）員・従業員	75	13.8%	91	12.6%	13	10.9%	6	25.0%
自営業／家業	6	1.1%	21	2.9%	5	4.2%	7	29.2%
学生（留学を含む）	17	3.1%	3	0.4%	2	1.7%	0	0.0%
専業主婦（夫）	7	1.3%	27	3.7%	5	4.2%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	31	5.7%	24	3.3%	3	2.5%	1	4.2%
その他	4	0.7%	10	1.4%	1	0.8%	1	4.2%
計	545	100.0%	723	100.0%	119	100.0%	24	100.0%
無回答	3		0		0		0	

(3)学種と職業との関係

奨学生本人の学種と職業との関係を見ると、無延滞者はほぼ全ての学種において「正社（職）員・従業員」の比率が60～80%台であるのに対し、延滞者ではほぼすべての学種で「正社（職）員・従業員」と「非正規社（職）員・従業員」の比率が同程度となっている。

表3-3-1 学種×職業【延滞者】

(単位：人)

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	48	26.4%	2	66.7%	39	36.1%
非正規社（職）員・従業員	61	33.5%	0	0.0%	44	40.7%
自営業／家業	16	8.8%	1	33.3%	5	4.6%
学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦（夫）	11	6.0%	0	0.0%	4	3.7%
無職・失業中／休職中	39	21.4%	0	0.0%	15	13.9%
その他	7	3.8%	0	0.0%	1	0.9%
計	182	100.0%	3	100.0%	108	100.0%
無回答	2		0		0	

(単位：人)

職業 \ 学種	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	420	47.0%	18	31.0%	127	36.8%	1	33.3%
非正規社（職）員・従業員	217	24.3%	13	22.4%	114	33.0%	0	0.0%
自営業／家業	80	8.9%	11	19.0%	23	6.7%	0	0.0%
学生（留学を含む）	6	0.7%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
専業主婦（夫）	12	1.3%	0	0.0%	11	3.2%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	132	14.8%	12	20.7%	61	17.7%	2	66.7%
その他	27	3.0%	4	6.9%	8	2.3%	0	0.0%
計	894	100.0%	58	100.0%	345	100.0%	3	100.0%
無回答	5		1		0		0	

表3-3-2 学種×職業【無延滞者】

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1	33.3%	53	88.3%	61	68.5%
非正規社（職）員・従業員	2	66.7%	2	3.3%	18	20.2%
自営業／家業	0	0.0%	1	1.7%	4	4.5%
学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦（夫）	0	0.0%	2	3.3%	3	3.4%
無職・失業中／休職中	0	0.0%	1	1.7%	3	3.4%
その他	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%
計	3	100.0%	60	100.0%	89	100.0%
無回答	0		0		1	

(単位：人)

職業 \ 学種	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	670	77.4%	102	79.7%	163	61.7%	1	100.0%
非正規社（職）員・従業員	103	11.9%	11	8.6%	49	18.6%	0	0.0%
自営業／家業	19	2.2%	5	3.9%	10	3.8%	0	0.0%
学生（留学を含む）	15	1.7%	4	3.1%	3	1.1%	0	0.0%
専業主婦（夫）	19	2.2%	1	0.8%	14	5.3%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	30	3.5%	2	1.6%	23	8.7%	0	0.0%
その他	10	1.2%	3	2.3%	2	0.8%	0	0.0%
計	866	100.0%	128	100.0%	264	100.0%	1	100.0%
無回答	2		0		0		0	

4 奨学生本人の年収について

(1)奨学生本人の年収（択一）

奨学生本人の年収について、「300万円以下」の比率は、延滞者では合計69.0%であるのに対し、無延滞者では合計40.0%と大きな差がみられる。

男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに、男性より女性の方が収入の低い区分の比率が高く、特に延滞者の女性で「200万円以下」の比率が高い。

表4-1-1（択一）

（単位：人）

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
0円	192	12.1%	69.0%	62	4.4%	40.0%
100万円以下	240	15.1%		79	5.6%	
100万円超～200万円以下	306	19.3%		144	10.2%	
200万円超～300万円以下	355	22.4%		279	19.8%	
300万円超～400万円以下	243	15.3%	28.3%	327	23.2%	58.3%
400万円超～500万円以下	96	6.1%		194	13.8%	
500万円超～600万円以下	48	3.0%		131	9.3%	
600万円超～700万円以下	29	1.8%		78	5.5%	
700万円超～800万円以下	10	0.6%		30	2.1%	
800万円超～900万円以下	8	0.5%		15	1.1%	
900万円超	15	0.9%		46	3.3%	
わからない	43	2.7%	2.7%	24	1.7%	1.7%
計	1,585	100.0%	100.0%	1,409	100.0%	100.0%
無回答	16			5		

表4-1-2【延滞者：男女別】

（単位：人）

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	100	11.6%	92	12.7%	192	12.1%	69.0%
100万円以下	87	10.1%	153	21.1%	240	15.1%	
100万円超～200万円以下	131	15.3%	175	24.1%	306	19.3%	
200万円超～300万円以下	198	23.1%	157	21.6%	355	22.4%	
300万円超～400万円以下	160	18.6%	83	11.4%	243	15.3%	28.3%
400万円超～500万円以下	67	7.8%	29	4.0%	96	6.1%	
500万円超～600万円以下	36	4.2%	12	1.7%	48	3.0%	
600万円超～700万円以下	23	2.7%	6	0.8%	29	1.8%	
700万円超～800万円以下	9	1.0%	1	0.1%	10	0.6%	
800万円超～900万円以下	8	0.9%	0	0.0%	8	0.5%	
900万円超	13	1.5%	2	0.3%	15	0.9%	
わからない	27	3.1%	16	2.2%	43	2.7%	2.7%
計	859	100.0%	726	100.0%	1,585	100.0%	100.0%
無回答	10		6		16		

表4-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	15	2.2%	47	6.4%	62	4.4%	40.0%
100万円以下	25	3.7%	54	7.3%	79	5.6%	
100万円超～200万円以下	44	6.6%	100	13.6%	144	10.2%	
200万円超～300万円以下	96	14.3%	183	24.8%	279	19.8%	
300万円超～400万円以下	141	21.0%	186	25.2%	327	23.2%	58.3%
400万円超～500万円以下	118	17.6%	76	10.3%	194	13.8%	
500万円超～600万円以下	84	12.5%	47	6.4%	131	9.3%	
600万円超～700万円以下	60	8.9%	18	2.4%	78	5.5%	
700万円超～800万円以下	25	3.7%	5	0.7%	30	2.1%	
800万円超～900万円以下	12	1.8%	3	0.4%	15	1.1%	
900万円超	40	6.0%	6	0.8%	46	3.3%	
わからない	11	1.6%	13	1.8%	24	1.7%	1.7%
計	671	100.0%	738	100.0%	1,409	100.0%	100.0%
無回答	1		4		5		

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	207	11.4%	68.2%	239	11.5%	69.4%	246	12.2%	69.6%
100万円以下	284	15.7%		347	16.7%		323	16.0%	
100万円超～200万円以下	350	19.3%		400	19.3%		382	18.9%	
200万円超～300万円以下	395	21.8%		454	21.9%		457	22.6%	
300万円超～400万円以下	260	14.3%	28.0%	287	13.8%	27.8%	284	14.0%	27.5%
400万円超～500万円以下	108	6.0%		127	6.1%		146	7.2%	
500万円超～600万円以下	71	3.9%		78	3.8%		52	2.6%	
600万円超～700万円以下	34	1.9%		42	2.0%		36	1.8%	
700万円超～800万円以下	13	0.7%		19	0.9%		17	0.8%	
800万円超～900万円以下	5	0.3%		8	0.4%		9	0.4%	
900万円超	16	0.9%		15	0.7%		13	0.6%	
わからない	69	3.8%	3.8%	58	2.8%	2.8%	58	2.9%	2.9%
計	1,812	100.0%	100.0%	2,074	100.0%	100.0%	2,023	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	93	5.5%	42.9%	75	3.7%	41.2%	71	4.9%	42.4%
100万円以下	100	5.9%		116	5.8%		88	6.1%	
100万円超～200万円以下	162	9.5%		194	9.7%		130	9.0%	
200万円超～300万円以下	375	22.0%		441	22.0%		327	22.5%	
300万円超～400万円以下	356	20.9%	54.5%	446	22.2%	57.1%	308	21.2%	55.6%
400万円超～500万円以下	242	14.2%		273	13.6%		193	13.3%	
500万円超～600万円以下	153	9.0%		195	9.7%		129	8.9%	
600万円超～700万円以下	64	3.8%		97	4.8%		77	5.3%	
700万円超～800万円以下	39	2.3%		50	2.5%		43	3.0%	
800万円超～900万円以下	26	1.5%		30	1.5%		26	1.8%	
900万円超	47	2.8%		54	2.7%		32	2.2%	
わからない	45	2.6%	2.6%	35	1.7%	1.7%	28	1.9%	1.9%
計	1,702	100.0%	100.0%	2,006	100.0%	100.0%	1,452	100.0%	100.0%

(2)職業と年収との関係

奨学生本人の職業と年収との関係を見ると、延滞者、無延滞者のいずれにおいても、「正社（職）員・従業員」では「200万円超～400万円以下」の比率が20～30%台で高く、「非正規社（職）員・従業員」では「100万円超～200万円以下」の比率が高い。

表4-2-1 職業×年収【延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	3	0.5%	4	0.9%	9	6.7%
100万円以下	7	1.1%	123	27.5%	31	23.0%
100万円超～200万円以下	57	8.8%	180	40.2%	34	25.2%
200万円超～300万円以下	208	32.0%	96	21.4%	23	17.0%
300万円超～400万円以下	188	28.9%	23	5.1%	22	16.3%
400万円超～500万円以下	82	12.6%	5	1.1%	5	3.7%
500万円超～600万円以下	43	6.6%	2	0.4%	1	0.7%
600万円超～700万円以下	22	3.4%	2	0.4%	4	3.0%
700万円超～800万円以下	9	1.4%	0	0.0%	1	0.7%
800万円超～900万円以下	6	0.9%	1	0.2%	1	0.7%
900万円超	11	1.7%	1	0.2%	3	2.2%
わからない	14	2.2%	11	2.5%	1	0.7%
計	650	100.0%	448	100.0%	135	100.0%
無回答	5		1		1	

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	2	28.6%	30	78.9%	132	50.8%	12	26.7%
100万円以下	4	57.1%	5	13.2%	58	22.3%	12	26.7%
100万円超～200万円以下	1	14.3%	1	2.6%	23	8.8%	9	20.0%
200万円超～300万円以下	0	0.0%	0	0.0%	24	9.2%	4	8.9%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	0	0.0%	9	3.5%	1	2.2%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	3	6.7%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	2.2%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	2	5.3%	12	4.6%	2	4.4%
計	7	100.0%	38	100.0%	260	100.0%	45	100.0%
無回答	0		0		1		10	

表4-2-2 職業×年収【無延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	1	0.1%	0	0.0%	1	2.6%
100万円以下	5	0.5%	40	21.6%	3	7.7%
100万円超～200万円以下	55	5.2%	67	36.2%	6	15.4%
200万円超～300万円以下	211	20.1%	49	26.5%	3	7.7%
300万円超～400万円以下	298	28.4%	17	9.2%	7	17.9%
400万円超～500万円以下	179	17.1%	5	2.7%	5	12.8%
500万円超～600万円以下	126	12.0%	2	1.1%	2	5.1%
600万円超～700万円以下	72	6.9%	3	1.6%	3	7.7%
700万円超～800万円以下	28	2.7%	1	0.5%	1	2.6%
800万円超～900万円以下	14	1.3%	0	0.0%	1	2.6%
900万円超	39	3.7%	0	0.0%	6	15.4%
わからない	20	1.9%	1	0.5%	1	2.6%
計	1,048	100.0%	185	100.0%	39	100.0%
無回答	3		0		0	

(単位：人)

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	5	22.7%	31	81.6%	21	36.2%	3	18.8%
100万円以下	13	59.1%	5	13.2%	9	15.5%	4	25.0%
100万円超～200万円以下	3	13.6%	1	2.6%	9	15.5%	3	18.8%
200万円超～300万円以下	0	0.0%	1	2.6%	12	20.7%	2	12.5%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	0	0.0%	3	5.2%	2	12.5%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	3	5.2%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%
わからない	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%
計	22	100.0%	38	100.0%	58	100.0%	16	100.0%
無回答	0		1		1		3	

(3)年齢と年収との関係

奨学生本人の年齢と年収との関係を見ると、延滞者では年齢区分により年収にあまり変化がみられないのに対し、無延滞者では年齢が上がるにつれ年収が高くなっている。

表4-3-1 年齢×年収【延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	27	8.7%	58	11.7%	55	11.7%	52	16.9%
100万円以下	60	19.4%	63	12.7%	57	12.1%	60	19.5%
100万円超～200万円以下	84	27.1%	72	14.5%	75	16.0%	75	24.4%
200万円超～300万円以下	85	27.4%	112	22.5%	102	21.7%	56	18.2%
300万円超～400万円以下	35	11.3%	101	20.3%	81	17.2%	26	8.4%
400万円超～500万円以下	7	2.3%	39	7.8%	36	7.7%	14	4.5%
500万円超～600万円以下	4	1.3%	23	4.6%	17	3.6%	4	1.3%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	10	2.0%	12	2.6%	7	2.3%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	2	0.4%	5	1.1%	3	1.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	1	0.2%	6	1.3%	1	0.3%
900万円超	0	0.0%	3	0.6%	8	1.7%	4	1.3%
わからない	8	2.6%	13	2.6%	16	3.4%	6	1.9%
計	310	100.0%	497	100.0%	470	100.0%	308	100.0%
無回答	0		2		6		8	

表4-3-2 年齢×年収【無延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	22	4.0%	32	4.4%	7	5.9%	1	4.2%
100万円以下	42	7.7%	34	4.7%	2	1.7%	1	4.2%
100万円超～200万円以下	77	14.1%	61	8.5%	5	4.2%	1	4.2%
200万円超～300万円以下	173	31.7%	92	12.8%	9	7.6%	5	20.8%
300万円超～400万円以下	148	27.2%	164	22.7%	13	10.9%	2	8.3%
400万円超～500万円以下	49	9.0%	129	17.9%	12	10.1%	4	16.7%
500万円超～600万円以下	19	3.5%	93	12.9%	16	13.4%	3	12.5%
600万円超～700万円以下	7	1.3%	51	7.1%	19	16.0%	1	4.2%
700万円超～800万円以下	1	0.2%	17	2.4%	10	8.4%	2	8.3%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	7	1.0%	7	5.9%	1	4.2%
900万円超	0	0.0%	25	3.5%	18	15.1%	3	12.5%
わからない	7	1.3%	16	2.2%	1	0.8%	0	0.0%
計	545	100.0%	721	100.0%	119	100.0%	24	100.0%
無回答	3		2		0		0	

(4)学種と年収との関係

学種と奨学生本人の年収との関係を見ると、延滞者は、ほぼすべての学種で年収は「300万円以下」の比率が20～30%台と高いのに対し、無延滞者では上位の学種になるほど年収も高くなる傾向がある。

表4-4-1 学種×年収【延滞者】

(単位：人)

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	36	19.9%	0	0.0%	11	10.2%
100万円以下	37	20.4%	0	0.0%	20	18.5%
100万円超～200万円以下	46	25.4%	0	0.0%	23	21.3%
200万円超～300万円以下	34	18.8%	1	33.3%	28	25.9%
300万円超～400万円以下	12	6.6%	1	33.3%	13	12.0%
400万円超～500万円以下	4	2.2%	0	0.0%	8	7.4%
500万円超～600万円以下	2	1.1%	0	0.0%	1	0.9%
600万円超～700万円以下	2	1.1%	0	0.0%	2	1.9%
700万円超～800万円以下	1	0.6%	1	33.3%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	6	3.3%	0	0.0%	2	1.9%
計	181	100.0%	3	100.0%	108	100.0%
無回答	3		0		0	

(単位：人)

学種 年収	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	96	10.8%	9	15.5%	38	11.1%	2	66.7%
100万円以下	111	12.5%	7	12.1%	65	19.1%	0	0.0%
100万円超～200万円以下	154	17.3%	6	10.3%	76	22.3%	1	33.3%
200万円超～300万円以下	201	22.6%	15	25.9%	76	22.3%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	152	17.1%	13	22.4%	52	15.2%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	66	7.4%	2	3.4%	16	4.7%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	36	4.0%	2	3.4%	7	2.1%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	24	2.7%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	6	0.7%	2	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	7	0.8%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	12	1.3%	1	1.7%	1	0.3%	0	0.0%
わからない	26	2.9%	0	0.0%	9	2.6%	0	0.0%
計	891	100.0%	58	100.0%	341	100.0%	3	100.0%
無回答	8		1		4		0	

表4-4-2 学種×年収【無延滞者】

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	0	0.0%	4	6.8%	3	3.4%
100万円以下	1	33.3%	1	1.7%	10	11.2%
100万円超～200万円以下	0	0.0%	4	6.8%	20	22.5%
200万円超～300万円以下	1	33.3%	7	11.9%	31	34.8%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	10	16.9%	18	20.2%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	8	13.6%	5	5.6%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	14	23.7%	1	1.1%
600万円超～700万円以下	1	33.3%	5	8.5%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%
計	3	100.0%	59	100.0%	89	100.0%
無回答	0		1		1	

(単位：人)

学種 年収	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	32	3.7%	4	3.1%	19	7.2%	0	0.0%
100万円以下	43	5.0%	6	4.7%	18	6.8%	0	0.0%
100万円超～200万円以下	72	8.3%	2	1.6%	46	17.4%	0	0.0%
200万円超～300万円以下	162	18.7%	6	4.7%	72	27.3%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	224	25.9%	15	11.7%	60	22.7%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	135	15.6%	18	14.1%	28	10.6%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	82	9.5%	24	18.8%	9	3.4%	1	100.0%
600万円超～700万円以下	50	5.8%	16	12.5%	6	2.3%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	11	1.3%	16	12.5%	1	0.4%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	7	0.8%	5	3.9%	1	0.4%	0	0.0%
900万円超	27	3.1%	15	11.7%	2	0.8%	0	0.0%
わからない	20	2.3%	1	0.8%	2	0.8%	0	0.0%
計	865	100.0%	128	100.0%	264	100.0%	1	100.0%
無回答	3		0		0		0	

5 延滞の状況

(1)延滞している理由（複数回答）

調査時点で延滞中の者に、延滞している理由を質問した。

延滞している理由は、「本人の低所得」が62.9%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が35.2%である。男女別でみると、男性は女性に比べて「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」の比率が高い。また、「奨学金の延滞額の増加」は男女ほぼ同率となっている。

なお、「奨学金は返還するものだとは思っていない」と回答した比率は、計1.3%と低い数値となった。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-1-1 延滞している理由（複数回答）×男女別

（単位：人）

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	494	61.6%	439	64.5%	933	62.9%
本人が失業中（無職）	216	26.9%	159	23.3%	375	25.3%
本人が学生（留学を含む）	5	0.6%	3	0.4%	8	0.5%
本人の病気・けが	137	17.1%	141	20.7%	278	18.7%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	290	36.2%	172	25.3%	462	31.2%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	128	16.0%	116	17.0%	244	16.5%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	100	12.5%	98	14.4%	198	13.4%
本人の配偶者の経済困難	28	3.5%	61	9.0%	89	6.0%
家族の病気・介護	80	10.0%	78	11.5%	158	10.7%
忙しい（金融機関に行けない等）	50	6.2%	52	7.6%	102	6.9%
返還割賦額（月額）が高い	142	17.7%	141	20.7%	283	19.1%
奨学金の延滞額の増加	275	34.3%	247	36.3%	522	35.2%
奨学金は返還するものだとは思っていない	17	2.1%	2	0.3%	19	1.3%
その他	60	7.5%	56	8.2%	116	7.8%
回答者数	802		681		1,483	
無回答	67		51		118	

＜参考＞ 過年度調査の結果【延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,083	55.9%	1,219	62.9%	1,226	62.7%	1,905	64.0%
本人が失業中（無職）	442	22.8%	491	25.3%	383	19.6%	724	24.3%
本人が学生（留学を含む）	6	0.3%	21	1.1%	18	0.9%	67	2.3%
本人が病気療養中	272	14.0%	287	14.8%	117	6.0%	339	11.4%
本人の借入金の返済	510	26.3%	638	32.9%	574	29.3%	910	30.6%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	325	16.8%	336	17.3%	390	19.9%	678	22.8%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	261	13.5%	316	16.3%	377	19.3%	674	22.6%
本人の配偶者の経済困難	119	6.1%	127	6.6%	133	6.8%	247	8.3%
家族の病気療養	211	10.9%	236	12.2%	227	11.6%	480	16.1%
忙しい（金融機関に行けない等）	94	4.9%	129	6.7%	151	7.7%	263	8.8%
返還割賦額（月額）が高い	313	16.2%	370	19.1%	383	19.6%	-	-
奨学金の延滞額の増加	623	32.1%	802	41.4%	834	42.6%	1,188	39.9%
（R1除く）奨学金は返還するものだとは思っていない	20	1.0%	18	0.9%	-	-	61	2.0%
その他	172	8.9%	213	11.0%	214	10.9%	249	8.4%
回答者数	1,938		1,938		1,956		2,977	

延滞している理由の中で最も大きな理由を質問したところ、男女ともに「本人の低所得」が高く合計で31.0%であり、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」及び「奨学金の延滞額の増加」が高く、合計で13.1%となっている。

表5-1-2 延滞している最たる理由（択一）×男女別

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	205	29.2%	194	33.2%	399	31.0%
本人が失業中（無職）	69	9.8%	50	8.5%	119	9.2%
本人が学生（留学を含む）	4	0.6%	0	0.0%	4	0.3%
本人の病気・けが	52	7.4%	50	8.5%	102	7.9%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	117	16.7%	52	8.9%	169	13.1%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	42	6.0%	32	5.5%	74	5.7%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	25	3.6%	30	5.1%	55	4.3%
本人の配偶者の経済困難	5	0.7%	13	2.2%	18	1.4%
家族の病気・介護	11	1.6%	15	2.6%	26	2.0%
忙しい（金融機関に行けない等）	15	2.1%	13	2.2%	28	2.2%
返還割賦額（月額）が高い	28	4.0%	28	4.8%	56	4.4%
奨学金の延滞額の増加	91	13.0%	78	13.3%	169	13.1%
奨学金は返還するものだとは思っていない	6	0.9%	1	0.2%	7	0.5%
その他	32	4.6%	29	5.0%	61	4.7%
回答者数	702	100.0%	585	100.0%	1,287	100.0%
無回答	167		147		314	

延滞している理由を「本人の低所得」と回答した者の年収をみると、「300万円未満」が79.1%を占める（延滞者全体：69.0%）。

表5-1-3 「本人の低所得」×本人の年収

（単位：人）

区分	「本人の低所得」 と回答した者の年収		延滞者全体の年収（再掲）			
	人数	比率	人数	比率		
0円	77	8.3%	192	12.1%	69.0%	
100万円以下	182	19.5%	240	15.1%		
100万円超～200万円以下	233	25.0%	306	19.3%		
200万円超～300万円以下	244	26.2%	355	22.4%		
300万円超～400万円以下	127	13.6%	243	15.3%	28.3%	
400万円超～500万円以下	31	3.3%	96	6.1%		
500万円超～600万円以下	11	1.2%	48	3.0%		
600万円超～700万円以下	6	0.6%	29	1.8%		
700万円超～800万円以下	3	0.3%	10	0.6%		
800万円超～900万円以下	0	0.0%	8	0.5%		
900万円超	3	0.3%	15	0.9%		
わからない	14	1.5%	43	2.7%	2.7%	
計	931	100.0%	1,585	100.0%	100.0%	
無回答	3		16			

(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係（複数回答）

主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係をみると、主に返還金を用意する人が「奨学生本人」では延滞理由は「本人の低所得」が67.3%で最も高く、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が37.1%である。また、主に返還金を用意する人が「本人の親」では、延滞理由は「本人の低所得」が46.0%で最も高く、次いで「本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が40.6%である。

主に返還金を用意する人が「本人の配偶者・パートナー」では、延滞理由は「本人の低所得」が64.7%で最も高く、次いで「本人が失業中（無職）」が38.2%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-2 主に返還金を用意する人×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

延滞している理由	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	783	67.3%	120	46.0%	22	64.7%
本人が失業中（無職）	279	24.0%	73	28.0%	13	38.2%
本人が学生（留学を含む）	6	0.5%	2	0.8%	0	0.0%
本人の病気・けが	200	17.2%	61	23.4%	8	23.5%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	432	37.1%	34	13.0%	2	5.9%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	181	15.6%	56	21.5%	3	8.8%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	76	6.5%	106	40.6%	2	5.9%
本人の配偶者の経済困難	70	6.0%	8	3.1%	10	29.4%
家族の病気・介護	118	10.1%	35	13.4%	2	5.9%
忙しい（金融機関に行けない等）	92	7.9%	8	3.1%	1	2.9%
返還割賦額（月額）が高い	239	20.6%	36	13.8%	8	23.5%
奨学金の延滞額の増加	427	36.7%	82	31.4%	10	29.4%
奨学金は返還するものだとは思っていない	15	1.3%	2	0.8%	0	0.0%
その他	88	7.6%	23	8.8%	4	11.8%
回答者数	1,163		261		34	
無回答	90		22		1	

(3)年収と延滞している理由との関係（複数回答）

奨学生本人の年収と延滞している理由との関係をみると、年収「0円」では延滞理由は「本人が失業中（無職）」が68.9%で最も高く、「1～400万円以下」では「本人の低所得」が、「400万円超」では「本人の借入金の返済」及び「奨学金の延滞額の増加」が高くなる。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-3 奨学生本人の年収×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

年収 延滞している理由	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	77	42.1%	182	79.8%	233	81.2%	244	75.5%
本人が失業（無職）	126	68.9%	87	38.2%	54	18.8%	61	18.9%
本人が学生（留学を含む）	2	1.1%	4	1.8%	1	0.3%	1	0.3%
本人の病気・けが	79	43.2%	68	29.8%	49	17.1%	38	11.8%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	13	7.1%	45	19.7%	77	26.8%	121	37.5%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	24	13.1%	27	11.8%	45	15.7%	54	16.7%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	26	14.2%	28	12.3%	45	15.7%	36	11.1%
本人の配偶者の経済困難	14	7.7%	17	7.5%	14	4.9%	17	5.3%
家族の病気・介護	27	14.8%	24	10.5%	36	12.5%	25	7.7%
忙しい（金融機関に行けない等）	4	2.2%	6	2.6%	15	5.2%	31	9.6%
返還割賦額（月額）が高い	20	10.9%	43	18.9%	51	17.8%	71	22.0%
奨学金の延滞額の増加	48	26.2%	67	29.4%	99	34.5%	125	38.7%
奨学金は返還するものだとは思っていない	2	1.1%	3	1.3%	2	0.7%	4	1.2%
その他	15	8.2%	15	6.6%	22	7.7%	22	6.8%
回答者数	183		228		287		323	
無回答	9		12		19		32	

年収 延滞している理由	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円以上・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	127	55.9%	31	34.8%	11	25.6%	29	25.2%
本人が失業中（無職）	23	10.1%	8	9.0%	2	4.7%	16	13.9%
本人が学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の病気・けが	23	10.1%	8	9.0%	1	2.3%	14	12.2%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	105	46.3%	48	53.9%	28	65.1%	36	31.3%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	50	22.0%	18	20.2%	4	9.3%	23	20.0%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	28	12.3%	6	6.7%	8	18.6%	21	18.3%
本人の配偶者の経済困難	14	6.2%	9	10.1%	2	4.7%	2	1.7%
家族の病気・介護	22	9.7%	9	10.1%	3	7.0%	12	10.4%
忙しい（金融機関に行けない等）	20	8.8%	10	11.2%	7	16.3%	9	7.8%
返還割賦額（月額）が高い	63	27.8%	18	20.2%	10	23.3%	11	9.6%
奨学金の延滞額の増加	93	41.0%	33	37.1%	20	46.5%	38	33.0%
奨学金は返還するものだとは思っていない	4	1.8%	2	2.2%	0	0.0%	2	1.7%
その他	20	8.8%	8	9.0%	6	14.0%	12	10.4%
回答者数	227		89		43		115	
無回答	16		7		5		6	

(4)職業と延滞している理由との関係（複数回答）

奨学生本人の職業と延滞している理由との関係を見ると、多くの職業区分において延滞理由は「本人の低所得」の比率が高く、特に「非正規社（職）員・従業員」、「自営業/家業」で高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-4 職業×延滞している理由（複数回答）

（単位：人）

職業 延滞している理由	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	329	55.2%	332	79.2%	103	80.5%
本人が失業中（無職）	59	9.9%	91	21.7%	15	11.7%
本人が学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の病気・けが	49	8.2%	74	17.7%	18	14.1%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	263	44.1%	124	29.6%	39	30.5%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	123	20.6%	68	16.2%	18	14.1%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	83	13.9%	56	13.4%	12	9.4%
本人の配偶者の経済困難	34	5.7%	34	8.1%	4	3.1%
家族の病気・介護	65	10.9%	41	9.8%	11	8.6%
忙しい（金融機関に行けない等）	88	14.8%	16	3.8%	7	5.5%
返還割賦額（月額）が高い	147	24.7%	87	20.8%	23	18.0%
奨学金の延滞額の増加	265	44.5%	138	32.9%	51	39.8%
奨学金は返還するものだとは思っていない	10	1.7%	4	1.0%	4	3.1%
その他	79	13.3%	26	6.2%	8	6.3%
回答者数	596		419		128	
無回答	59		30		8	

職業 延滞している理由	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	5	71.4%	18	52.9%	125	49.2%	21	46.7%
本人が失業中（無職）	0	0.0%	15	44.1%	185	72.8%	12	26.7%
本人が学生（留学を含む）	7	100.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
本人の病気・けが	2	28.6%	6	17.6%	114	44.9%	16	35.6%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	1	14.3%	2	5.9%	37	14.6%	7	15.6%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	0	0.0%	5	14.7%	29	11.4%	2	4.4%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	1	14.3%	7	20.6%	33	13.0%	3	6.7%
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	6	17.6%	8	3.1%	2	4.4%
家族の病気・介護	1	14.3%	3	8.8%	30	11.8%	7	15.6%
忙しい（金融機関に行けない等）	0	0.0%	3	8.8%	7	2.8%	4	8.9%
返還割賦額（月額）が高い	1	14.3%	2	5.9%	32	12.6%	8	17.8%
奨学金の延滞額の増加	1	14.3%	10	29.4%	70	27.6%	17	37.8%
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%	0	0.0%
その他	0	0.0%	7	20.6%	16	6.3%	7	15.6%
回答者数	7		34		254		45	
無回答	0		4		7		10	

(5)延滞経験の有無（択一）

調査時点で無延滞の者に、これまでに延滞したことがあるかを質問した。
「延滞したことがある」者は20.6%である。

表5-5（択一）（単位：人）

区分	無延滞者	
	人数	比率
延滞したことがない	1,035	73.2%
延滞したことがある	291	20.6%
わからない	87	6.2%
計	1,413	100.0%
無回答	1	

＜参考＞ 過年度調査の結果【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	1,260	73.6%	1,511	75.0%	1,088	75.3%	1,714	75.0%
延滞したことがある	369	21.5%	399	19.8%	285	19.7%	438	19.2%
わからない	84	4.9%	104	5.2%	71	4.9%	133	5.8%
計	1,713	100.0%	2,014	100.0%	1,444	100.0%	2,285	100.0%

(6)延滞になったことを何で知ったか（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを何で知ったかを質問した。

「機構からの振替不能（延滞）通知」が68.2%で最も高く、次いで「機構からの電話」28.4%、「口座残高を確認して」が25.6%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-6（複数回答）（単位：人）

区分	無延滞者	
	人数	比率
機構からの振替不能（延滞）通知	197	68.2%
機構からの電話	82	28.4%
連帯保証人・保証人からの連絡	10	3.5%
口座残高を確認して	74	25.6%
親・家族等からの連絡	17	5.9%
債権回収会社からの連絡	20	6.9%
その他	5	1.7%
回答者数	289	
無回答	2	

(7)延滞をしたときに最初にしたこと（択一）

調査時点で延滞中の者および無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞したときに最初に行ったことを質問した。

無延滞者は「入金した」が74.0%で最も高いのに対し、延滞者は「奨学金相談センターに電話した」が30.5%で最も高い。

表5-7（択一）

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
入金した	224	14.5%	214	74.0%
返還期限猶予を申請した	282	18.3%	13	4.5%
「返還のてびき」をみた	43	2.8%	6	2.1%
機構ホームページをみた	89	5.8%	11	3.8%
奨学金相談センターに電話した	469	30.5%	24	8.3%
文書・FAXで機構に相談した	28	1.8%	1	0.3%
連帯保証人・保証人に相談した	44	2.9%	0	0.0%
家族・親族（連帯保証人・保証人以外）に相談した	103	6.7%	15	5.2%
その他	35	2.3%	5	1.7%
何もしなかった	223	14.5%	-	-
計	1,540	100.0%	289	100.0%
無回答	61		2	

(8)延滞を解消できた理由（択一）

調査時点で無延滞の者で、「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消できた理由として最もあてはまるものを質問した。

「親・家族からの資金援助があった」が18.1%であり、高い数値となった。

表5-8（択一）

（単位：人）

区分	無延滞者	
	人数	比率
就職した	17	6.0%
収入が増えた	25	8.9%
一時的な収入があった	26	9.2%
親・家族からの資金援助があった	51	18.1%
返還期限猶予が承認された	21	7.4%
その他	142	50.4%
計	282	100.0%
無回答	9	

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1) 返還期限猶予制度の認知状況（択一）

返還期限猶予制度の認知率は、延滞者で80.5%、無延滞者で59.3%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で37.7%であるのに対し、延滞者では6.9%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が54.6%と、無延滞者に比べて高い。

表6-1

（単位：人）

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	57	3.6%	80.5%	268	19.0%	59.3%
返還が始まる前に知っていた	53	3.3%		264	18.7%	
返還が始まってから知った	302	19.0%		282	20.0%	
延滞督促を受けてから知った	867	54.6%		23	1.6%	
知らない	309	19.5%	19.5%	575	40.7%	40.7%
計	1,588	100.0%	100.0%	1,412	100.0%	100.0%
無回答	13			2		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	56	3.1%	79.1%	69	3.3%	80.1%	64	3.2%	78.1%
返還が始まる前には知っていた	58	3.2%		57	2.7%		69	3.4%	
返還が始まってから知った	338	18.7%		367	17.6%		353	17.5%	
延滞督促を受けてから知った	979	54.1%		1,180	56.5%		1,091	54.0%	
知らない	379	20.9%	20.9%	415	19.9%	19.9%	443	21.9%	21.9%
計	1,810	100.0%	100.0%	2,088	100.0%	100.0%	2,020	100.0%	100.0%

【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	371	21.7%	61.8%	355	17.6%	62.1%	321	13.5%	64.6%
返還が始まる前に知っていた	328	19.2%		450	22.3%		568	23.8%	
返還が始まってから知った	318	18.6%		399	19.8%		599	25.1%	
延滞督促を受けてから知った	41	2.4%		50	2.5%		52	2.2%	
知らない	653	38.2%	38.2%	765	37.9%	37.9%	844	35.4%	35.4%
計	1,711	100.0%	100.0%	2,019	100.0%	100.0%	2,384	100.0%	100.0%

(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係

奨学生本人の年齢と猶予制度の認知状況との関係を見ると、「返還が始まる前までに猶予制度を知っていた」比率が、他の年代に比べて20代以下で比較的高い。

表6-2-1 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	18	5.8%	13	2.6%	17	3.6%	9	2.9%
返還が始まる前に知っていた	10	3.2%	23	4.6%	15	3.2%	5	1.6%
返還が始まってから知った	48	15.5%	122	24.5%	89	18.9%	43	13.9%
延滞督促を受けてから知った	135	43.7%	258	51.9%	272	57.6%	202	65.2%
知らない	98	31.7%	81	16.3%	79	16.7%	51	16.5%
計	309	100.0%	497	100.0%	472	100.0%	310	100.0%
無回答	1		2		4		6	

表6-2-2 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	128	23.4%	117	16.2%	22	18.6%	1	4.2%
返還が始まる前に知っていた	127	23.2%	116	16.1%	14	11.9%	7	29.2%
返還が始まってから知った	70	12.8%	176	24.4%	31	26.3%	5	20.8%
延滞督促を受けてから知った	8	1.5%	12	1.7%	2	1.7%	1	4.2%
知らない	215	39.2%	301	41.7%	49	41.5%	10	41.7%
計	548	100.0%	722	100.0%	118	100.0%	24	100.0%
無回答	0		1		1		0	

(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係

奨学生本人の年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係を見ると、延滞者では全年収を通じて「延滞督促を受けてから知った」比率が高い。

表6-3-1 年収×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	6	3.1%	9	3.8%	8	2.6%	15	4.3%
返還が始まる前に知っていた	5	2.6%	8	3.4%	11	3.6%	8	2.3%
返還が始まってから知った	23	12.0%	53	22.3%	47	15.4%	58	16.5%
延滞督促を受けてから知った	132	69.1%	133	55.9%	175	57.4%	196	55.7%
知らない	25	13.1%	35	14.7%	64	21.0%	75	21.3%
計	191	100.0%	238	100.0%	305	100.0%	352	100.0%
無回答	1		2		1		3	

認知状況 \ 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	7	2.9%	4	4.2%	4	8.3%	1	1.6%
返還が始まる前に知っていた	8	3.3%	4	4.2%	5	10.4%	2	3.3%
返還が始まってから知った	61	25.2%	29	30.2%	9	18.8%	13	21.3%
延滞督促を受けてから知った	119	49.2%	43	44.8%	20	41.7%	30	49.2%
知らない	47	19.4%	16	16.7%	10	20.8%	15	24.6%
計	242	100.0%	96	100.0%	48	100.0%	61	100.0%
無回答	1		0		0		1	

認知状況 \ 年収	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.5%
返還が始まる前に知っていた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%
返還が始まってから知った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	16.4%
延滞督促を受けてから知った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	34.5%
知らない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	22	40.0%
計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55	100.0%
無回答	0		0		0		4	

表6-3-2 年収×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	12.9%	17	21.5%	30	20.8%	50	17.9%
返還が始まる前に知っていた	9	14.5%	10	12.7%	20	13.9%	58	20.8%
返還が始まってから知った	20	32.3%	18	22.8%	27	18.8%	55	19.7%
延滞督促を受けてから知った	3	4.8%	1	1.3%	4	2.8%	6	2.2%
知らない	22	35.5%	33	41.8%	63	43.8%	110	39.4%
計	62	100.0%	79	100.0%	144	100.0%	279	100.0%
無回答	0		0		0		0	

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	65	19.9%	38	19.7%	19	14.5%	16	20.5%
返還が始まる前に知っていた	73	22.4%	39	20.2%	26	19.8%	15	19.2%
返還が始まってから知った	64	19.6%	32	16.6%	32	24.4%	12	15.4%
延滞督促を受けてから知った	5	1.5%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%
知らない	119	36.5%	84	43.5%	52	39.7%	35	44.9%
計	326	100.0%	193	100.0%	131	100.0%	78	100.0%
無回答	1		1		0		0	

年収 認知状況	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない・無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	5	16.7%	1	6.7%	13	28.3%	6	20.7%
返還が始まる前に知っていた	5	16.7%	2	13.3%	2	4.3%	5	17.2%
返還が始まってから知った	6	20.0%	3	20.0%	11	23.9%	2	6.9%
延滞督促を受けてから知った	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%
知らない	14	46.7%	9	60.0%	18	39.1%	16	55.2%
計	30	100.0%	15	100.0%	46	100.0%	29	100.0%
無回答	0		0		0		0	

(4)返還期限猶予制度を何で知ったか（複数回答）

返還期限猶予制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、返還期限猶予制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」、「奨学金相談センター」で猶予制度を知った比率がそれぞれ47.1%、21.7%と高く、無延滞者は「返還のてびき」、「奨学金申請時・採用時の資料」で猶予制度を知った比率がそれぞれ46.9%、40.7%と高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-4-1（複数回答）

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	88	7.1%	333	40.7%
返還のてびき	194	15.6%	384	46.9%
機構のホームページ	180	14.5%	105	12.8%
機構からの通知	585	47.1%	37	4.5%
奨学金相談センター	270	21.7%	4	0.5%
学校の説明会	32	2.6%	84	10.3%
連帯保証人・保証人	29	2.3%	2	0.2%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	60	4.8%	20	2.4%
債権回収会社	174	14.0%	0	0.0%
テレビ・新聞などのマスメディア	14	1.1%	9	1.1%
スカラシップ・アドバイザー	13	1.0%	3	0.4%
その他	24	1.9%	1	0.1%
回答者数	1,242		819	
無回答	37		18	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	99	7.2%	105	6.5%	96	6.3%
返還のてびき	231	16.7%	240	14.9%	235	15.5%
機構のホームページ	173	12.5%	196	12.2%	182	12.0%
機構からの通知	661	47.8%	823	51.0%	760	50.2%
奨学金相談センター	310	22.4%	374	23.2%	328	21.7%
学校の説明会	25	1.8%	35	2.2%	27	1.8%
連帯保証人・保証人	31	2.2%	26	1.6%	37	2.4%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	66	4.8%	72	4.5%	72	4.8%
債権回収会社	183	13.2%	235	14.6%	190	12.6%
テレビ・新聞などのマスメディア	12	0.9%	10	0.6%	18	1.2%
スカラシップ・アドバイザー	10	0.7%	15	0.9%	8	0.5%
その他	23	1.7%	34	2.1%	20	1.3%
回答者数	1,383		1,613		1,513	

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	386	37.4%	458	37.1%	313	20.7%
返還のてびき	444	43.1%	585	47.4%	395	26.1%
機構のホームページ	143	13.9%	227	18.4%	134	8.9%
機構からの通知	148	14.4%	180	14.6%	148	9.8%
奨学金相談センター	17	1.6%	18	1.5%	9	0.6%
学校の説明会	181	17.6%	231	18.7%	182	12.0%
連帯保証人・保証人	10	1.0%	7	0.6%	9	0.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	75	7.3%	81	6.6%	75	5.0%
債権回収会社	1	0.1%	7	0.6%	3	0.2%
テレビ・新聞などのマスメディア	27	2.6%	40	3.2%	43	2.8%
スカラシップ・アドバイザー	5	0.5%	4	0.3%	1	-
その他	12	1.2%	15	1.2%	13	0.9%
回答者数	1,031		1,234		1,513	

延滞者に対して、返還期限猶予制度の利用状況を質問した。（択一）

「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」が27.3%で高く、次いで「申請したことがない」「現在、利用中である」がそれぞれ26.1%、25.0%と高かった。

表6-4-2

(単位：人)

区分	延滞者	
	人数	比率
現在、利用中である	323	25.0%
申請の準備または検討をしている（書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む）	106	8.2%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	353	27.3%
申請したことはあるが、承認されなかった	112	8.7%
申請したことがない	338	26.1%
その他	61	4.7%
計	1,293	100.0%
無回答	308	

「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」または「申請したことがない」と回答した延滞者に対して、利用しない理由を質問した。（択一）

「すでに猶予期間（通算120か月）を利用してしまったため」が24.0%で最も高く、次いで「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が22.7%と高かった。

表6-4-3

(単位：人)

区分	延滞者	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	128	21.0%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	33	5.4%
すでに猶予期間（通算120か月）を利用してしまったため	146	24.0%
猶予申請しないで返還する予定のため	75	12.3%
猶予申請手続きに手間がかかるため	52	8.5%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	138	22.7%
その他	37	6.1%
計	609	100.0%
無回答	82	

(5)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度の認知率は、延滞者で62.8%、無延滞者で48.8%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で30.8%であるのに対し、延滞者では4.8%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が43.3%と無延滞者に比べて高い。

表6-5（択一）

（単位：人）

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	47	3.1%	62.8%	209	15.6%	48.8%
返還が始まる前に知っていた	27	1.8%		205	15.3%	
返還が始まってから知った	226	14.7%		220	16.4%	
延滞督促を受けてから知った	665	43.3%		22	1.6%	
知らない	571	37.2%	37.2%	688	51.2%	51.2%
計	1,536	100.0%	100.0%	1,344	100.0%	100.0%
無回答	65			70		

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	38	2.2%	62.1%	52	2.6%	62.1%	44	2.3%	63.3%
返還が始まる前に知っていた	34	1.9%		41	2.0%		44	2.3%	
返還が始まってから知った	261	14.8%		270	13.3%		227	12.1%	
延滞督促を受けてから知った	761	43.2%		899	44.2%		874	46.5%	
知らない	667	37.9%	37.9%	770	37.9%	37.9%	689	36.7%	36.7%
計	1,761	100.0%	100.0%	2,032	100.0%	100.0%	1,878	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	295	18.0%	52.0%	267	13.8%	49.9%	200	14.5%	49.7%
返還が始まる前に知っていた	270	16.4%		359	18.6%		241	17.4%	
返還が始まってから知った	258	15.7%		305	15.8%		217	15.7%	
延滞督促を受けてから知った	31	1.9%		33	1.7%		29	2.1%	
知らない	789	48.0%	48.0%	968	50.1%	50.1%	695	50.3%	50.3%
計	1,643	100.0%	100.0%	1,932	100.0%	100.0%	1,382	100.0%	100.0%

(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係

年齢と減額返還制度の認知状況との関係をみると、延滞者では、年代に関係なく「延滞督促を受けてから知った」比率が高く、20代以下では、他の年代より「返還が始まる前までには知っていた」比率が高い。

表6-6-1 年齢×減額返還制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	13	4.4%	12	2.5%	14	3.0%	8	2.6%
返還が始まる前に知っていた	7	2.4%	13	2.7%	6	1.3%	1	0.3%
返還が始まってから知った	45	15.3%	88	18.4%	60	13.0%	33	10.9%
延滞督促を受けてから知った	94	31.9%	192	40.1%	221	48.0%	158	52.3%
知らない	136	46.1%	174	36.3%	159	34.6%	102	33.8%
計	295	100.0%	479	100.0%	460	100.0%	302	100.0%
無回答	15		20		16		14	

表6-6-2 年齢×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	102	19.5%	90	13.2%	15	13.0%	2	8.3%
返還が始まる前に知っていた	113	21.6%	82	12.0%	6	5.2%	4	16.7%
返還が始まってから知った	59	11.3%	133	19.5%	24	20.9%	4	16.7%
延滞督促を受けてから知った	7	1.3%	13	1.9%	2	1.7%	0	0.0%
知らない	243	46.4%	363	53.3%	68	59.1%	14	58.3%
計	524	100.0%	681	100.0%	115	100.0%	24	100.0%
無回答	24		42		4		0	

(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係

奨学生本人の年収と減額返還制度の認知状況との関係を見ると、延滞者では年収300万円以下で「延滞督促を受けてから知った」と回答した比率が5割程度と高かった。

表6-7-1 年収×減額返還制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	6	3.2%	11	4.7%	7	2.4%	10	3.0%
返還が始まる前に知っていた	2	1.1%	4	1.7%	5	1.7%	6	1.8%
返還が始まってから知った	23	12.3%	38	16.4%	31	10.5%	46	13.8%
延滞督促を受けてから知った	96	51.3%	98	42.2%	141	47.6%	144	43.1%
知らない	60	32.1%	81	34.9%	112	37.8%	128	38.3%
計	187	100.0%	232	100.0%	296	100.0%	334	100.0%
無回答	5		8		10		21	

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	5	2.1%	4	4.2%	2	4.7%	2	1.8%
返還が始まる前に知っていた	2	0.8%	4	4.2%	2	4.7%	2	1.8%
返還が始まってから知った	46	19.2%	18	18.9%	8	18.6%	16	14.7%
延滞督促を受けてから知った	91	37.9%	41	43.2%	13	30.2%	41	37.6%
知らない	96	40.0%	28	29.5%	18	41.9%	48	44.0%
計	240	100.0%	95	100.0%	43	100.0%	109	100.0%
無回答	3		1		5		12	

表6-7-2 年収×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	7	11.5%	14	18.4%	26	18.7%	35	13.4%
返還が始まる前に知っていた	8	13.1%	11	14.5%	14	10.1%	49	18.8%
返還が始まってから知った	15	24.6%	9	11.8%	21	15.1%	40	15.3%
延滞督促を受けてから知った	2	3.3%	4	5.3%	6	4.3%	3	1.1%
知らない	29	47.5%	38	50.0%	72	51.8%	134	51.3%
計	61	100.0%	76	100.0%	139	100.0%	261	100.0%
無回答	1		3		5		18	

認知状況 \ 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	55	18.0%	23	12.6%	17	13.4%	32	16.8%
返還が始まる前に知っていた	58	19.0%	23	12.6%	21	16.5%	21	11.0%
返還が始まってから知った	51	16.7%	30	16.4%	26	20.5%	28	14.7%
延滞督促を受けてから知った	4	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	1.0%
知らない	138	45.1%	107	58.5%	62	48.8%	108	56.5%
計	306	100.0%	183	100.0%	127	100.0%	191	100.0%
無回答	21		11		4		7	

(8)減額返還制度を何で知ったか（複数回答）

減額返還制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、減額返還制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」、「奨学金相談センター」で減額返還制度を知った比率がそれぞれ48.1%、22.5%で高く、無延滞者は「返還のてびき」、「奨学金申請時・採用時の資料」、「機構のホームページ」で減額返還制度を知った比率がそれぞれ46.6%、40.6%、22.6%で高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-8（複数回答）

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	65	7.1%	259	40.6%
返還のてびき	129	14.1%	297	46.6%
機構のホームページ	141	15.4%	144	22.6%
機構からの通知	441	48.1%	62	9.7%
奨学金相談センター	206	22.5%	8	1.3%
学校の説明会	20	2.2%	114	17.9%
連帯保証人・保証人	18	2.0%	2	0.3%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	36	3.9%	33	5.2%
債権回収会社	117	12.8%	3	0.5%
テレビ・新聞などのマスメディア	9	1.0%	20	3.1%
スカラシップ・アドバイザー	10	1.1%	1	0.2%
回答者数	916		638	
無回答	49		18	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	29	2.8%	68	5.6%	64	5.6%
返還のてびき	146	14.0%	122	10.1%	153	13.3%
機構のホームページ	137	13.1%	167	13.9%	135	11.8%
機構からの通知	469	45.0%	606	50.3%	588	51.3%
奨学金相談センター	249	23.9%	495	41.1%	257	22.4%
学校の説明会	16	1.5%	21	1.7%	16	1.4%
連帯保証人・保証人	26	2.5%	27	2.2%	30	2.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	44	4.2%	86	7.1%	48	4.2%
債権回収会社	140	13.4%	251	20.8%	152	13.3%
テレビ・新聞などのマスメディア	7	0.7%	15	1.2%	19	1.7%
スカラシップ・アドバイザー	11	1.1%	19	1.6%	5	0.4%
回答者数	1,042		1,205		1,147	

【無延滞者】

区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	309	36.8%	338	35.5%	225	14.9%
返還のてびき	401	47.8%	455	47.8%	297	19.6%
機構のホームページ	149	17.8%	193	20.3%	104	6.9%
機構からの通知	114	13.6%	123	12.9%	105	6.9%
奨学金相談センター	10	1.2%	11	1.2%	8	0.5%
学校の説明会	166	19.8%	187	19.6%	148	9.8%
連帯保証人・保証人	5	0.6%	6	0.6%	5	0.3%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	54	6.4%	52	5.5%	49	3.2%
債権回収会社	1	0.1%	3	0.3%	0	0.0%
テレビ・新聞などのマスメディア	17	2.0%	29	3.0%	34	2.2%
スカラシップ・アドバイザー	2	0.2%	3	0.3%	0	0.0%
回答者数	839		952		1,513	